

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月28日

事業所名

きらめき北谷

	チェック項目	評価			工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
		はい	どちらとも いえない	いいえ		
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	1	活動内容や個々の特性に合わせてスペースを利用するよう心がけている。	個別訓練用に個室が欲しいが現状難しい。衝立を使うなど一部屋を分ける工夫などを行なっていきたい。
	2 職員の配置数は適切である	0	3	4	児童の人数を調整している。	スタッフの休みが重なったりすると日によって手薄になる日がある。人出不足を感じる日はあるがチームで安全面の確認を十分に行う、他事業所からのヘルプに来てもらい対応など工夫する。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	2	3	段差があったり、階段があったり、子ども達が身体の使い方に合わせる事が必要になるよう設備を利用。	シャワー室がなく不便を感じることもある。子ども達に取ってよりよい環境を考えたい。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	2	0	業務の合間で会議をするようにしている。	会議を実施できている時と出ていない時がある。会議の時間の確保に努めたい。目標設定や振り返りはチームで行なっている。継続したい。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	0	毎年実施HPで公表している。	毎年保護者からの聞き取りで行っており継続したい。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1	0	毎年実施HPで公表している。	継続したい。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3	3	業務改善の振り返りを年度末に行なっている。	現状、第三者による外部評価は行っていない。検討中。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	0	研修があるという情報を共有している。	継続したい。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	1	アセスメントシートを作成、定期的にニーズを確認している。	取り組み始めているが、まだ主観的な分析が多い状態。アセスメントの取り方、時期、実施回数が適切か保護者の意見を確認しながら改善していきたい。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	1	5	事業所独自のアセスメントツールを使用。	標準化されたアセスメントツールではないものの、子どもたちの様子を細かくとらえられるようなアセスメントシートを作成、使用している。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	0	支援員同士で相談し合っている。	活動プログラムを立案、計画書の作成、内容やねらいの確認、準備、提供までチームで行なっている。継続したい。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	0	月の活動計画を話し合いで決め、固定化しない様に心がけている。	チームみんなで立案しており、固定化されないよう意識できている。継続したい。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	0	0	特別な活動になる様に工夫している。	継続したい。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	1	0	担当者を決めて個々を見れるように工夫している。	継続したい。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1	0	児童来所前に話し合いをしている。	継続したい。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	0	振り返りの話し合いを行なっている。	継続したい。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	0	毎日記録を付けている。	継続したい。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0	0	事業所会議等で情報を共有している。	継続したい。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	2	0	特性に合わせた支援の展開をしている。	ガイドラインをチームで確認しながら支援を行なえるよう工夫していく。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	0	児発管、担当者が参加している。	児童発達管理責任者が参加、または日々の様子を詳細に把握している担当者も参加することもあります。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	1	2	4	保護者からの情報提供で確認している。	送迎サービスを行っていないため、送迎時のトラブルになることはない。長期休みなどに関し、情報を保護者よりもらっている。継続したい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	2	4	対象児がいない。	今後対象児が利用を希望してくることも予想して必要な準備、知識、情報を集めておきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	2	4	必要に応じて行っている。	こどもたちの為に必要な支援を円滑に行えるよう、関係機関との良好な関係を築けるよう務める。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	1	5	対象児がいない。	まだその対象となる児童がいない。今後必要に応じてこどもたちの為に必要な支援を円滑に行えるよう、関係機関との良好な関係を築けるよう務める。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	1	4	連携はできていないが研修は参加する様になっている。	研修の機会を通して関係機関との連携が円滑にできる関係性を築けるよう努力したい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	1	2	今年度一度行った。	今年度はじめて地域学童との交流ができた。継続してこのような機会の提供ができるよう地域とのつながり、連携、関係性の築きに努める。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7	0	0	参加しているスタッフと情報共有している	継続したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	2	LINEで活動の様子等を報告している。	継続したい。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	1	0	情報は共有している。	当事業所では行えていないが地域の保護者向けセミナーなどの情報を周知しています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	1	利用者負担額については不十分。	契約時に書面を通してご説明しています。利用者負担額などについては明細書と領収書を発行しており、質問があったときお答えしていますが、どのスタッフからも説明ができるよう、努めていきたい。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	2	0	送迎時やLINE等で相談があった場合はきちんと耳を傾けすぐに対応する様になっている。	送迎時やモニタリング会議など、こどもたちの成長を共有しながら密にお話ができるよう心がけております。ご相談や疑問などがあればぜひLINEなども活用し、スタッフへ気軽に声をかけてほしいです。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2	1	親子参加の行事は行っている。	療育参観日の企画、実施なども行うことが出来た。継続して機会を増やしていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	0	保護者から連絡などがあった場合は職員同士で共有、話し合いを行ない迅速に対応している。	継続したい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	0	LINE等を活用して連絡を取っている。	継続したい。
	35	個人情報に十分注意している	7	0	0	鍵付き書庫を使用。	継続したい。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	2	0	送迎時などに情報の伝達をしたり、LINEなどを活用している。	相手にこちらの意図が容易に伝わっているか、またどのような伝え方が伝わりやすいかを常に意識、配慮を行っているよう努めたい。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3	3	今は行えてはいない。	どのような方法なら実施可能かを検討していきたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1	0	必要に応じて確認している。	マニュアルの周知方法について検討していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	0	定期的に避難訓練を行っている。	継続したい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	0	研修情報共有や研修内容報告などを行っている。	継続したい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1	1	身体拘束の説明は行なっている。	身体拘束の説明はしているが、対象児はいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0	0	活動の中でおやつを食べる際は除去。	活動の中でおやつが出たり、クッキングを行う際にスタッフ間で情報を共有し、確認している。継続したい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	0	ヒヤリハット発生時にすぐ事業所内で情報共有をしようとしている。	継続したい。